

気象界消息

1. 太平洋横断ソンの飛揚

3月末から4月末にかけて、アメリカの大気研究センターでは、日本から太平洋を横断して、200mb等圧面を飛揚するトランソゾンデ観測(GHOSTプロジェクト)を計画実施した。同センターから次の4氏が来日、実施にあたった。

V. Lally, S. Solot, E. Lichfield, G. Mellor.

2. 最近、出向する在外研究者

気象研究所、内藤恵吉氏は、カナダのウエストオンタリオ大学へ、東北大学、大竹武氏はアラスカ、フェアバンクスのアラスカ大学へ、それぞれ出向、気象研究に従事することとなった。

3. 三月末の雪

3月27日朝、東京周辺に降雪があった。すぐとけてしまったが1961年に同じ3月27日に降ったという記録があるが、やはり珍しい春雪であった。

4. アラスカの強震

3月27日、アラスカに大地震が発生、死者21名、行方不明83名をだした。スウェーデンの科学者は米・ソの核爆発実験がこの地震をひきおこしたのだと言っている。アラスカ地方では湖や川が干上がり、日本でも津浪の恐れの際報がだされた。

5. ウクライナの洪水

3月30日夜、ソビエト政府は南部工業地帯の一部を洪水の恐れにより緊急退去命令をだしたと発表した。西ウクライナ地区の川は異常な多雪のため15フィートも水位が上り、氾濫が発生した由である。

6. 3月31日の春暖

3月31日、日本全般は暖かい空気におおわれた。東京では平年より5.9°Cも高い21.3°Cに気温が上り、桜も急に開花し、スキーは完全におしまいになった。

7. 霧の中の航空機事故

3月31日夜、霧と豪雨の中を飛行中のアリタリア航空のバイカウント機が、ヴェスヴィアス火山に激突し、炎上、45名の死者をだした。

8. 瀬戸内海の濃霧

4日4日、濃霧が瀬戸内海に発生、海陸空の交通機関が運航を見合わせ、1~2時間のおくれをだした。

9. テキサスのトルネード

テキサス州ウィチタ・フォールスの北西郊外に、4月

3日、トルネードが発生、6人が死に55名が負傷したと報じられている。

10. 北海道の春雪

4月8日、北海道の北部に雪が降り、珍らしくも20cmから40cmも積り、除雪車が出動した。

11. なだれ、ひんびん

4月8日、新潟で、同じ日にオーストラリアで、4月12日にはスイスで、春のなだれが発生した。日本のなだれは二戸の農家をおしつぶし、オーストリアでは4人、スイスでは2人のスキーヤーがまきこまれて死亡した。

12. 雪を伴う嵐、アメリカ中西部をおそう

4月12日、アメリカ中西部地方にイースターの嵐がおそって、20cmにおよぶ積雪を伴い、30m/secの強風が吹きあれた。

13. ベンガルのトルネード

4月6日、東パキスタンにトルネードがおそった、詳細は不明ではあるが、家屋の破壊は相当に上っている見こみという。

14. 静岡で山くずれ

4月初旬の長雨にゆるんだ地盤が土砂くずれをおこした。4月11日、静岡県吉原で発生した山くずれで、一人が死亡した。

15. 東パキスタンの嵐

4月11日、東パキスタンにサイクロンがおそった。強風で家屋、電柱等がねじりたおされ、死者75人以上、負傷は500を突破したと報じられている。

16. アメリカではトルネード

はげしい砂あらしを伴って、トルネードが、4月12日の夜、シカゴ南部の草原地帯を駆けぬけた。12名以上が死んだらしいとのこと。

17. 北海道にも春暖

4月14日、北海道全般に初夏の暖かさがやってきた。札幌での朝9時の気温は17.3°Cで、平年より10.4°Cも高く、時ならぬ南風に、短かい袖の人もみられた。

18. ユーゴでの地震

4月13日、ユーゴスラビア全般にかなりの強震があり、約200戸が倒壊し死者3、負傷100以上をだした。

19. 関西地方に濃霧

4月18日、瀬戸内海に沿った各地では初夏の気温に相当する暖気のため、濃霧が発生、交通が混乱した。